

長崎県 障害者

スポーツ協会だより

発行：令和 3 年 10 月
 編集/発行：(一社)長崎県障害者スポーツ協会
 〒852-8104 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター

TEL：095-894-9686 FAX：095-849-4703
 E-mail：hdcp-sports@mbn.nifty.com
 URL http://nagasakiports.c.ooco.jp

第31号



目次

◆ 会長挨拶	2
◆ 「第 21 回長崎県障害者スポーツ大会」について	3
◆ 「第 21 回全国障害者スポーツ大会」について	3
◆ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック	4 ~ 7
◆ スポーツ活動の情報	8
◆ トピックス	10
◆ 令和 2 年度長崎県障害者スポーツ協会事業報告及び決算報告	11
◆ 協会事務局からのお知らせ	12 ~ 14



長崎県障害者スポーツ協会
会長 土岐 達志

東京パラリンピックを終えて

一昨年3月発行の協会便り第26号で、車いすバスケットボール選手を紹介させて頂きました。生まれつき両足と両手の指に障害をもつ連志君は両親の愛情や周囲の励ましに支えられて逞しく育ち、12歳で車いすバスケットボールに出会ってからは持ち前の負けん気と人一倍の練習量でメキメキと頭角を現します。そして17歳の夏、「4年後の東京パラで、必ずや日本のエースとして活躍されることを期待したい。がんばれ鳥海連志選手!」とリオパラの車いすバスケット日本代表壮行会でエールを送ったことを今もはっきり覚えています。

新型コロナウイルス感染症の急拡大が続く中、8月24日

に無観客で開催した「東京2020パラリンピック」は関係者のご尽力により全ての日程を終え、9月5日の閉会式で蓮の花びらのような聖火台がゆっくり閉じると聖火が消えその幕を降ろしました。13日間の開催期間中に161カ国・地域のアスリート4403名が22競技539種目で競った圧倒的なパフォーマンスは、テレビ観戦した全世界の人々に鮮烈な勇氣と感動を与えました。車いすバスケットボールでは本県選出の鳥海選手や川原選手が大活躍し、決勝では前回王者の米国を追い詰め60-64とあと一歩及びませんでした。また、堂々の銀メダル獲得となりました。また卓球男子の浅野選手も初めての大舞台でベスト8と大健闘、3年後のパリ大会での活躍に今から期待が高まります。更に国際車いすバスケット連盟から、東京パラリンピックの男子MVPに鳥海連志選手が選出されたことはこの上ない快挙であり、一県民として心から祝福したいと思います。

閉会式で国際パラリンピック委員会(IPC)のパーソンズ会長は、「祭典の間、私たちは

違いを認め合い、多様性の調和を示した。私たちの旅をここで終わらせてはいけない」と明るい未来への入口だと呼びかけました。その具体的な取り組みとして、IPCは東京パラを契機に、世界人口の15%に当たる約12億人の障害者の人権を守る新たなキャンペーンを開始するとしています。

東京パラ日本選手団副団長のマセソン美紀さん(IPC教育委員)は、「バリアフリー設備の設置などハード面の動きは進んだが、ソフト面の取り組みを加速させなければ、真の共生社会は実現できない。障害の有無にかかわらず誰もが生きやすい日本社会になることを願っている」とコメントしています。

最後にコロナ禍の東京パラ開催に関わったあらゆる関係者に心から感謝申し上げます。「私はパラと恋に落ちた。手脚がなくても新しい人生のチャンスをつかめる。無観客でもそんなパワーを伝えたい。」病で両腕と両足の一部を失った車いすフエンシング女子のベアトリチェ・ビオ選手(イタリア)の大会開催の意義と感謝のコメントを紹介してー。

第21回 長崎県障害者スポーツ大会

「第21回長崎県障害者スポーツ大会」は令和3年5月30日（日）に「第21回全国障害者スポーツ大会」の選手選考会を兼ね、トランスコスモス長崎を主会場に約900名の役員・選手参加のもと、開催準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の情勢に鑑み、一旦秋のスポーツシーズンに延期することとした。

しかし、県内の感染状況が一層厳しくなり、8月末に本年度開催を中止することとした。

第21回 全国障害者スポーツ大会

「第21回全国障害者スポーツ大会」は令和3年10月に3日間、三重県において開催される予定であった。

長崎県代表選手は、選手選考を兼ねた「第21回長崎県障害者スポーツ大会」の延期開催の状況を踏まえ、令和元年の「茨城大会」の派遣決定選手及び令和元年の県大会等の成績を参考にして、個人競技31名の選手を決定し派遣準備を進めていた。

団体競技も九州ブロック競技運営団体の推薦を得た知的障害者の「ソフトボール」と身体障害者の「車いすバスケットボール」が決定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況が深刻化した8月末に「三重とわか大会」を中止する通達があった。

選手団にとっては、大型台風接近に伴い中止となった「茨城大会」、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送った「鹿児島大会」につづき3年連続して全国障害者スポーツ大会の開催中止を体験した。



「三重大会」の応援隊

第21回 全国障害者スポーツ大会 長崎県代表選手一覧

◆陸上競技【11名】

選手名	性別	所 属
1 中村 一孝	男	県立ろう学校
2 山本 璃空	男	県立ろう学校
3 長尾 陽路	男	県立ろう学校
4 緒方 晴	男	県立諫早特別支援学校
5 大平 由翔	男	県立諫早特別支援学校
6 西山 蓮	男	県立希望が丘高等特別支援学校
7 大石 透	男	社会福祉法人 ゆうわ会 ワークショップあさひA
8 樽木 令文	男	県立佐世保特別支援学校
9 岩崎 琉羽	女	県立虹の原特別支援学校
10 大石 祥	男	県立虹の原特別支援学校
11 村川 愛子	女	県立島原特別支援学校

◆水泳競技【4名】

1 堀江 大紳	男	長崎南山高等学校
2 岩本 将希	男	日本調剤 久原薬局
3 賀村 友理	女	エス・ケイ・フーズ マクドナルド
4 武分 剛	男	日本ハム株式会社 諫早ブランド

◆アーチェリー競技【1名】

1 永松 邦彦	男	佐世保市
---------	---	------

◆卓球競技【5名】

1 藤本 千賀	女	長崎市
2 大田 克久	男	明治生命 長崎支社
3 橋口陽茉莉	女	社会福祉法人 民生会 オンリーOne ま心
4 朝永 航	男	医療法人 わかば会 俵町浜野病院
5 尾崎 良寛	男	社会福祉法人 ゆうわ会 ワークショップあさひA

◆フライングディスク競技【5名】

1 藤原 信吾	男	諫早市身体障害者福祉協会
2 梶村 公明	男	田平町身体障害者福祉協会
3 坂下 重人	男	佐世保市身体障害者団体連合会
4 今里 耕治	男	諫早市手をつなぐ育成会 つくし学園
5 琴岡 淳一	男	諫早市

◆ボウリング競技【3名】

1 齊藤 祐二	男	ふれあいネットワーク・ピアありあけ
2 谷山 太一	男	ライフ・ワーク小浦 第2事業所
3 田平 修一	男	長崎基準寝具株式会社

◆ボッチャ競技【2名】

1 工藤 弘道	男	県ボッチャ協会
2 高谷 英行	男	県立諫早特別支援学校

◆車いすバスケットボール競技【11名】

1 永江 一徳	男	独立行政法人 国立病院機構長崎医療センター
2 立川 光樹	男	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
3 溝口 良太	男	株式会社グリーンテック九州
4 小川 祥汰	男	長与町
5 松永 崇徳	男	諫早市
6 門脇 拓磨	男	長崎南山高等学校
7 石光 朋弥	男	一般社団法人 長崎市心身障害者連合会
8 木下 皓太	男	長崎県 福祉保健部 福祉保健課
9 藤田 忍	男	社会福祉法人 南高愛隣会 ブルースカイ
10 山下 修司	男	諫早市役所
11 江口 侑里	女	株式会社トヨタレンタリース長崎

◆ソフトボール競技【11名】

1 堀内 勇気	男	モン・サンがさき
2 森崎 敦	男	長崎インターナショナルホテル株式会社
3 宮浦 漁	男	有田工業株式会社
4 堤 晴男	男	昭和フード株式会社
5 坂内 竜成	男	県立希望が丘高等特別支援学校
6 岩永 明彦	男	有限会社新光運輸
7 實亀 魁斗	男	大村市
8 山下 翔太	男	ハウスステンボス株式会社
9 江戸 裕貴	男	株式会社矢敷環境保全
10 山口拳太郎	男	医療法人 昭和会病院
11 鈴木 秀人	男	株式会社産直南島原

東京2020オリンピック・パラリンピック

TOKYO 2020 オリンピックの 聖火リレーに挑戦

(社福) ゆうわ会理事長
(一社) 長崎県障害者スポーツ協会副会長
竹内 一

令和3年5月7日(金) 長崎県雲仙市愛野町にて TOKYO2020 オリンピックの聖火ランナーを務めさせて頂きました。

オリンピックが1年延期となり開催が危ぶまれましたが、大会関係者の皆さま・医療従事者の皆さま等のご努力により聖火リレーが大過なく開催されたことを心からお礼申し上げます。また聖火リレー当日は、社会福祉法人ゆうわ会施設利用者の皆さま・保育園児童職員の皆さま・友人知人の皆さま・愛野町の皆さまの温かい声援の中で「Hope Lights Our Way (希望の道をつなごう)」をコンセプトに無事平和の灯(聖火)をつなぐことができ、感謝申し上げます。

さて、聖火ランナーに応募した理由が大きく2点あります。一つ目は私自身の仕事(障がい者支援サービス)を通じ日々感じていることですが、ハンディを背負った方々の懸命な生き様に感銘を受け、その方々の想いを背負い走り、施設利用者様と共に感動を共有したいと切に願ってのことです。もう一つは長崎県に在住する若い世代へのメッセンジャーとなることです。残念ながら長崎県は全国でも有数の人口減少県です。この聖火リレーを通じて、長崎県の魅力を発信しより多くの若者たちに感動を与えられるよう、その先に少しでも若者たちの心を動かし地元で活躍したいという気持ちを醸成できればと思います。

今後はこの経験を活かし障がい者の皆さまと共に「地域共生社会」の推進に向けて色んな場所、機会を捕らえて発信して行きたいと思います。その節は、皆さまのご支援ご協力お願いいたします。



東京2020パラリンピック 聖火フェスティバル集火・出立式

8月16日の夕暮れ、「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル集火・出立式」が県庁ロータリーで行われた。県内21市町で思い思いに採火された火が受け皿に集火され、東京2020パラリンピック聖火「長崎県の火」が完成した。

出立式では本県の障がい者を代表して、久保里司氏(県障害者バドミントン協会会長)が「長崎県の火」を高らかに掲げ、力強い宣言を行い、東京へ出立した。

「長崎県の火」を含む47都道府県の火は、東京都内を走り、集火式で「パラリンピックの火」としてひとつになり、最終の聖火ランナーまで受け継がれた。



中村知事・坂本議長・土岐会長

聖火ランナー 久保里司氏

元バドミントン競技の選手で、2000年にドイツ国際大会出場、03年には世界選手権混合ダブルス3位入賞など活躍した方で、現在は県障がい者スポーツ指導者協議会の理事として、あらゆる障がい者スポーツ活性化事業に参画されている。



東京2020パラリンピックで 大活躍した本県出身のアスリート

車いすバスケットボール

両下肢切断、両手指欠損にもめげず、幼いころから、運動機能は抜群で、大崎中の時、「全国障害者スポーツ大会」に長崎県代表で出場し、大崎高の時には本県チームの全国制覇に大きく貢献した。高校生ながらリオデジャネイロパラリンピックに出場し、若手プレーヤーとして注目された。あれから5年、リオパラの連敗の悔しさをバネとして日本代表チームを牽引するパワーをつけてきた。

東京パラリンピックでは日本代表チームの中心となり健闘するも、決勝戦で米国に敗れたが、車いすバスケットボールの魅力を多くの国民に伝える躍動の連続だった。銀メダルに終わったが、大会終了後のInstagramのフォロワーによる投票で「東京パラ MVP」に輝いた。



鳥海 連志 (22)
長崎市出身
WOWOW

鳥海 連志 選手から長崎県民の皆さまへ

こんにちは、車いすバスケットボールの鳥海連志です。

東京パラリンピックでは沢山のご声援をありがとうございました！無観客での大会となり、実際に皆さんの声をダイレクトに聞くことは難しかったですが、SNSを通して皆さまからのメッセージ等拝見し、本当に力になりました！おかげで、銀メダルを獲得することができました！

同郷である川原凛選手と隣でメダルをかけられたことは長崎勢として嬉しかったですし、長崎国体で共に戦った時から舞台を変え、東京パラリンピックの決勝まで同じコートに立って戦えたことは僕にとって誇りです。

大会が終わり、長崎に帰った際には母校の大崎高校をはじめ、多くの方々におめでとうと言って頂き、一緒に喜んで頂いたことは大会を振り返る上でも嬉しい出来事として欠かせない思い出になりました。

長崎で車いすバスケットに出会い、基礎を徹底的に叩き込んだ日々は僕の一つの青春でした。

このように皆さまに良い報告ができることを嬉しく思うと同時に僕はすでに次の目標に向かって進んでいることを周知致します。

来年千葉で開催されるU23の世界選手権、パリパラリンピックでのメダル獲得を目標にしています。

今後も車いすバスケットボールを通して皆さまと盛り上げられれば嬉しく思いますし、応援いただけることを願っています。



高校生時にリオパラ出場

車いすバスケットボール

脊髄腫瘍の下半身麻痺で幼いころから車いすの生活である。黒崎中の時、「第60回社会を明るくする運動」の中・高生県弁論大会で最優秀賞を受賞している。その弁論の締めは、「夢は車いすバスケットボールで活躍する」ことであった。

長崎明誠高に進み、「全国障害者スポーツ大会」に長崎県代表で出場した。高校卒業後は夢をかなえる強い意志で上京し、2017U23世界選手権に日本代表で出場する機会を得た。2018世界選手権・アジアパラリンピック等で活躍し、夢のパラリンピックに初の日本代表チーム入りを果たした。

東京パラリンピックでは後輩の鳥海選手とともに常にスタメンで活躍し、ディフェンスにガードにと縦横に走り廻り、日本代表チームの銀メダル獲得に大きく貢献した。



川原 凛 (24)
長崎市出身
LAWSON

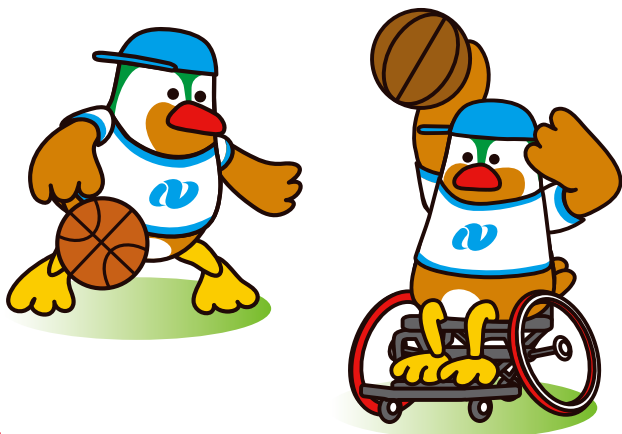
川原 凛 選手から長崎県民の皆さまへ

車いすバスケットボールの川原凛です。

東京パラリンピックの夢の挑戦が終わりました。そして今、長崎県から鳥海選手とともに「県民特別栄光賞」をいただけるお話がありました。このような賞を受賞させていただくこと、大変嬉しく思っています。

長崎から上京して6年、たくさんの方々に支えられ応援いただいたことがこの結果に繋がったと強く感じています。本当にありがとうございました。

今大会で車いすバスケットボールをはじめ、パラ競技の魅力が画面越しではありますが伝わったのではないかと思います。私自身人生を変えることができたように、少しでも興味が湧いた方、始めたいと思っている方は是非チャレンジしてみてください。変われるきっかけになるかもしれません。そのきっかけになれるよう、これからも精進する所存でございます。長崎県の皆さん本当にありがとうございました。



社会人となって

卓球競技

いここ二人も「全国障害者スポーツ大会」に長崎県代表で出場した卓球ファミリーである。本人は高田中3年の時「全国障害者スポーツ大会」に長崎県代表で健闘し、日本障がい者卓球連盟からも注目された。卒業後は卓球競技の名門 瓊浦高に進み、高体連卓球界で活躍を続けた。

高校3年の時に本格的に日本障がい者卓球連盟の主要大会に参加し、ジャパンチャンピオン、アジアチャンピオンの座を獲得したことで一気に東京パラリンピックの出場権をも獲得した。高校卒業後は「PIA」に入社し、環境にも恵まれ、21年の世界ランキング9位の勢いで参加した東京パラリンピックは、20歳の若さながらベスト8まで進む健闘（第5位）だった。



浅野 俊 (20)
長崎市出身
PIA

浅野 俊 選手から長崎県民の皆さまへ

卓球の浅野俊です。

東京2020パラリンピックたくさんの応援ありがとうございました。

結果は、準々決勝で負けてしまいましたが、メダル獲得まであと一歩まで戦えて、とても良い経験ができました。

最後の1本が近くて遠く感じましたが、勝ち切れる選手になれるよう、これからも今まで以上に頑張りたいと思います。

子供のころから卓球が好きで、高田中学校で指導を受け、瓊浦高校ではインターハイを目標に厳しい部活を経験したことが、戦いの基本になっていると感謝しています。

高校卒業後、社会人となり、会社の支援、練習環境にも恵まれ好きな卓球を続けることができています。

子供のころから、色々な方に支えられ、東京パラリンピックに出られたこと、本当に嬉しかったし、なによりも楽しかったです。

次のパリパラリンピックにも出場できるように、また一から頑張ります。

応援してくださったすべての方々、本当にありがとうございました。



コーチと共に東京パラ



「車いすバスケットボール」を勧める

元長崎サンライズ会長 山田 健一

2020 東京オリンピック・パラリンピックが終わりました。

パラリンピックの「車いすバスケットボール」を注目して見ていました。今までは7位～8位といったところが定位置でしたが、今回は試合内容のレベルが高く、今までは負けていた強豪国チームに勝って決勝まで勝ち上がり銀メダルを獲得しました。素晴らしい快挙で、毎試合ワクワクして見ていました。

自国開催ということもあって、テレビやメディアの関心も高く、テレビは全試合放送されました。それも今までなかったことです。車いすバスケットボールを見たことがない人達もその迫力に魅せられたのではないのでしょうか。

その日本代表チームの主力として長崎県出身の川原凜選手と鳥海連志選手が出場して活躍を続けたので目を離すことができませんでした。特に川原凜選手は、「長崎サンライズ」で小学生のころから一緒に練習をしていただけないで応援しながら緊張して見ていました。「長崎サンライズ」に入って車いすバスケットボールを始めるまでは、サンライズ杯などの大会や車いすバスケットボールを取り上げた上映会、九州連盟のジュニア強化の講習会など、ことあるごとに誘っていました。

もちろん、チームの選手を増やしたいという思いもありましたが、それ以上に車いす生活の障がい者にとってバスケットボールに取り組むというのが本人の為になるという思いが強くありました。

トレーニングを通じて体力がついて自信になるのでしょう。車いすのスキルも身に付くでしょう。社会人となり、毎日の通勤に耐える体力が必要です。同じ車いすの選手たちとは生活のこと、身体のことなど様々な話ができるでしょう。対戦するチームの選手たちとも知り合えることでしょう。車いすバスケットボールを始める前とでは世界がはるかに広がるでしょう。

川原凜選手以外にも誘った人はたくさんいました。スーパーで買い物中に声をかけた人、学校に交流に行ったときに障害を持った生徒さんを見つけて誘ったこともあります。車いすの人が入院していると聞けば病院まで会いに行ったこともあります。しかし、残念ながら断られることもありました。「サンライズ」に来て長く続かない人もいました。これから先、新しく入ってきても、川原凜選手のように日本代表に入って世界を相手に活躍するような選手は出てくるのでしょうか。若い選手たちに期待します。

これからも、障害を持った人に出会えば声をかけるでしょう。車いすバスケットボールを通じて人間的にも成長できることを信じています。生まれたときから障害を持った人、事故や病気や障害を持った人たちが、車いすバスケットボールで豊かな人生を送れることを願っています。



当時、中学生の立川光樹くん・小学生の川原 凜くん・山田健一さん

令和2年度 県障害者スポーツ協会表彰

例年、長崎県スポーツ協会表彰は定期総会において授与式を執り行われるが、令和2年度の表彰については、新型コロナウイルス感染症予防に鑑み、表彰式は中止することとし、受賞者へ表彰状並びに副賞をお届けした。



功労賞受賞の三村 均氏

表彰おめでとうございます

受賞された皆様をご紹介します。

特別功労賞：九州ガスホールディングス

功 労 賞：小松原 務・伊藤 圭

中島 信政・三村 均

優秀指導者賞：井川 繁美

優秀選手賞：太田 歩美・木村 勇聖

臼木 大悟

(敬略省)

令和3年度 県障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会を開催

例年どおり、障がい者のスポーツ振興と競技力向上に当たる指導者を養成する目的で実施します。

◆開催期日：令和4年1月16日(日)・22日(土)・23日(日)の3日間

◆開催会場：長崎市障害福祉センター【もりまちハートセンター】 長崎県総合福祉センター

◆対象者：県内在住で、障がい者スポーツ・レクリエーション活動従事者や、興味のある18歳以上の方(令和3年4月1日現在)

◆募集定員：20名

◆申込期間：令和3年11月1日(月)から12月17日(金)まで

◆申込先：(一社)長崎県障害者スポーツ協会

※(一社)長崎県障害者スポーツ協会のホームページをご確認ください。

■TEL：095-894-9686 ■FAX：095-849-4703

長崎県障害者スポーツ協会

検索



2021 長崎県障がい者ボッチャ大会を開催

例年、年度末に取り組んでいる長崎県共同募金会の赤い羽根「テーマ募金」活動では多くの企業ほか個人有志の方のご協力で、多額の浄財をいただき、障害者スポーツの普及活動に活用させていただいている。

「テーマ募金」の趣旨を生かす活動として、今年度も「2021 長崎県障がい者ボッチャ大会」を開催します。大会要項・参加申し込み等は、協会ホームページでご案内します。

パラリンピックで盛り上がった「ボッチャ」を定着させ、ボッチャ愛好者の普及拡大を図ることを目的とするとともに、ボッチャを通して、参加者同士の交流を図り、生涯スポーツへの意識を高める機会となるよう、今後も継続をすることを目標として開催しますので多くのご参加をお願いします。



◆開催日：令和4年3月12日(土) ◆会場：諫早市中央体育館



令和3年度

長崎県障がい者スポーツ指導者スキルアップ研修会の開催

- ◆目的 障がい者スポーツ指導者が、その資質向上及び情報交換により緊密な連携を図ることによって、障がい者スポーツ・レクリエーションの振興・発展に貢献することを目的とする。
- ◆日時 令和3年11月20日（土）10：00 開会
- ◆会場 長与町民体育館
- ◆募集定員 40名（県障がい者スポーツ指導者協議会員及び今後指導者として活動したい方）
- ◆申込方法 所定の申込書で郵送・FAX・メールにて申し込んでください。
- ◆申込先 （一社）長崎県障害者スポーツ協会
- ◆申込期限 令和3年11月10日（水）必着

V・ファーレン長崎からポロシャツのご寄贈

V・ファーレン長崎からチームオリジナルデザインのポロシャツ150着のご寄贈があった。「県障害者スポーツ協会」と協会所属の「県知的障がい者サッカー連盟」がいただき、有効に活用し、「頑張れ！V・ファーレン長崎」の応援にも役立てたいと、代表して本協会の大串事務局長が受け取った。



東京パラリンピックの写真集の紹介

佐賀新聞はこの度、共同通信社と「特別報道写真集 東京パラリンピック2020」を発刊しました。東京パラリンピックでの鳥海連志・川原 凛・浅野 俊選手など日本選手の活躍を中心に全競技・種目が網羅されています。開閉会式の様子も大会の感動と興奮を1冊に凝縮した写真グラフです。

◎A4判 176ページ ◎価格 1,320円（税込み）

※購入ご希望の方は、長崎県障害者スポーツ協会にご連絡ください。



県ボッチャ協会へ競技用具のご寄贈

県ボッチャ協会に長崎北東ロータリークラブ（高木哲郎会長）から、ボッチャ競技用のランプ（勾配具）とボールセットのご寄贈があった。

ボッチャは「東京パラリンピック」でも注目を集めた競技であり、特にランプは自力で球を投げることが難しい競技者がアシスタントのサポートで斜面を使い、玉の転がるスピードや到達距離を調整する貴重な競技用具である。

贈呈式で高木会長は「障がい者の方々の希望や生きがいになればうれしい。」とのお言葉をいただいた。県ボッチャ協会の奥野会長は「ランプで愛好者が広がる。パラリンピック出場を目指す選手強化に役立てたい。」と感謝を述べた。



令和2年度 一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会事業報告及び決算報告

事業報告

(令和3年度総会(書面議決)で承認されました。)

I. はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、長崎県障害者スポーツ大会をはじめ、多くの事業が中止を余儀なくされましたが、本協会の設立目的に沿い、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整備し、障害者スポーツのなお一層の普及振興を図ることを目的として、障害者の社会参加推進の要となる諸事業に取り組みました。

さらに、近年、障害者スポーツを取り巻く国の施策、社会環境の変化に対応することを目的に、公益財団法人長崎県スポーツ協会(旧：県体協)へ加盟し、組織の活動のなかで加盟団体との連携を図り、県民障害者スポーツのさらなる普及強化を促進しました。

一方、組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に推進しました。

II. 総括

1. 会議

- (1) 総会：令和2年6月21日(日)に開催
- (2) 理事会：令和2年5月18日(月)、令和2年6月21日(日)、令和3年3月19日(金)に開催
- (3) 正副会長会：令和2年5月12日(火)、令和3年2月26日(金)に開催

III. 実施事業

1. 第20回長崎県障害者スポーツ大会の開催(受託事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、本感染症に関わる社会的状況を総合的に勘案し、開催を中止した。

2. 全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業(受託事業)

「第20回全国障害者スポーツ大会」が10月に鹿児島県において開催される予定だったが新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から開催が令和5年度に延期された。

3. 障害者スポーツ普及・活性化事業(受託事業)

- (1) 障害者スポーツ人材バンク(現在の登録者101名)
- (2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催
 - ①普及研修会の開催状況・・・1カ所 21名参加
 - ②普及活動の開催状況・・・8カ所 370名参加
 - ③普及教室の開催状況・・・3カ所 81名参加
- (3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

4. 東京パラリンピック等アスリート特別強化事業(受託事業)

本県在住の、東京パラリンピックやデフリンピックに向けて出場が期待される選手が、JPC加盟競技団体が指定する国内外の各種大会、強化合宿に参加するために必要な遠征等に対して支援を行った。

5. 障害者スポーツ振興事業

- (1) 地域スポーツ交流事業
- (2) 障害者スポーツ指導員養成事業
- (3) 障害者スポーツに関する調査研究事業
- (4) 障害者スポーツ活動等支援事業
- (5) 広報・公聴事業

IV. 物品販売事業の推進(福祉販売：売り上げ活動会員18団体)

V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

申請の3団体5事業に対し、派遣事業及び開催事業に助成した。

全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会出場チームに活動費を助成した。

VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」(45件：1,558,284円の募金があった。/令和3年度助成分)

VII. その他の事業

- (1) 障害者スポーツ協会・賛助会員の増員について
 - ・団体賛助会員・・・24団体【6団体増】
 - ・個人賛助会員・・・523名【2名増】

決算報告

Ⅰ 一般正味財産増減の部
Ⅱ 経常増減の部

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

①経常収益			当年度	前年度	増減	②経常費用			当年度	前年度	増減
特定資産運用費			12	11	1	事業費	受託事業		2,006,805	15,828,998	△13,822,193
受取会費			1,336,200	1,339,000	△2,800		スポーツ振興事業		1,850,258	3,605,869	△1,755,611
事業収益			1,689,900	2,218,200	△528,300		県大会選手団助成事業		0	4,140,991	△4,140,991
受取補助金	公共団体補助金		8,565,143	20,630,500	△12,065,357		テーマ募金助成事業		875,241	0	875,241
	受託収益		1,939,293	15,800,418	△13,861,125		物品販売事業		1,672,990	2,058,033	△385,043
	民間助成金		1,448,000	1,777,456	△329,456		管理費		7,463,332	7,949,686	△486,354
受取負担金			190,512	105,000	85,512	法人会計	振興助成金		549,643	8,761,000	△8,211,357
雑収益			238,058	244,213	△6,155						
経常収益計			15,407,118	42,114,798	△26,707,680	経常収益計			14,418,269	42,344,577	△27,926,308
						当期経常増減額			988,849	△229,779	1,218,628

協会事務局からのお知らせ

令和3年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 ～御協力ありがとうございました～

◆ 賛助会員一覧

賛助会員（団 体）

株式会社 岩永印刷	長崎県営バス観光 株式会社	和風スナック 篝火
東武トップツアーズ株式会社 長崎支店	和光スポーツ	上五島建設 有限会社
名鉄観光サービス株式会社 長崎支店	株式会社 メモリード	株式会社 ライフテック
株式会社 クレイン いずや	株式会社 クリエイトオフィス	昭和スポーツ
日本紙工印刷 株式会社	株式会社 ひろたか	Nagasaki Trainer Club (ナガサキトレーナークラブ)
協和機電工業 株式会社	ヨシイスポーツ	社会福祉法人 友星会 ワークプラザ松浦
株式会社 昭和堂	社会福祉法人 悠久会	社会福祉法人 友星会 ワークプラザ上五島
社会福祉法人 佐世保市手をつなぐ育成会	社会福祉法人 ゆうわ会 すずらん	社会福祉法人 米寿会 あゆみ園
社会福祉法人 長崎市手をつなぐ育成会	社会福祉法人 むつごろう会	社会福祉法人 米寿会 杉の木ホーム
社会福祉法人 島原市手をつなぐ育成会	特定非営利活動法人 すみよし	特定非営利活動法人 ふれあいネットワーク・ピア
社会福祉法人 民生会カイゼ事務所		

賛助会員（個 人）

大串近太郎	林田 綾子	鬼塚 富美	亀田 信樹	奥野比呂志	松崎ヨシ子	原口留美子	野口 明子
崎村 俊策	田淵 勝利	馬場由美子	真鳥 市郎	永間 忠康	永間佐代子	松本さつき	仁藤 和彦
吉田 稔	小松 誠一	横部 潤二	山根三恵子	川口 祐汰	本多 貴代	崎 美佐子	松森真理子
西村 玄人	田口たまみ	吉田 俊介	山口 知子	寺崎 秀子	児玉浩三郎	宮崎 深幸	野澤 由夏
相良 満男	尾崎 泰規	入江 勝					

県立島原特別支援学校

近藤 亮二	長下 芳寿	河村 徳明	寺坂 淳子	植木加奈子	村上 貴之	狩野 邦徳	福島 孝則
林 洋行	田浦さと美	豊島 育郎	天野 健二	塩田 清美	小玉 修一	田口 裕也	園田 友美
宮地 康平	平林 実波	布澤愛里咲	松崎 一孝	奥野 智美	隈部 憲也	園田 智美	鶴田 明希
長門 祐紀	稲田 宏子						

県立鶴南特別支援学校

影本 正樹	富永 貴稔	松川 昇	下田 美紀	大串 尚央	亀田 優	崎戸加菜恵	嶋崎 智晃
高島 亜未	豊村健士郎	中村 華子	杉本 倍達	田中 聡	村田 大輔	濱口 朋幸	八木 美恵
河村 憲成	高野 歩実	亀井ひろみ	酒井 美香	徳永 雄	松島 友章	磯田 幸子	吉田 治子
小川 裕明	菊谷記恵子	梶村 恵	井上 唯	田淵 康代	磯谷 美枝	野坂 敦子	野口 祐樹
泉田慎太郎	宮園 華	永田亜希子	久留 啓照	荒木 七菜	藤本 由紀	八尾友理恵	荒濱 智子
河原 郁子	合田ひなの	山崎 翔矢	池田裕紀子	友永 光幸	高尾なつき	内田ひかり	袖崎 舞
泉 英里奈	末次 明子	山口奈菜美	中村 貢	檜山由紀子	岩崎希代子	濱田 美香	岡野 裕介
馬場 公康	金子ちぐさ	前田 美和					

県立盲学校

下田 勝美	山田 政博	畑中 清二	荒木 清徳	矢島 卓弥	井上香菜美	野崎 優花	峰平真理子
間賦口あすか	谷口喜代子						

県立ろう学校

柴田 寿恵	坂本 志子	池下 寿美	野本 晃希	濱岡 昭博	桑宮 みほ	深堀 睦美	菅 晴瑠奈
西水 和美	伯野 陽子	山本 操	竹市 弥生	瀬戸 幸太	川波 麻弥	渡邊 佳恵	戸上 敦史
島本美菜子	兼 祥子	古川 舞	廣川 碧衣	萩島 彩夏	吉岡ももか	高原 千恵	野沢 邦彦
馬場真由美	松川未智子	安田都規子	梅本 健一	川口 英隆	久田 政司	長岡 純斉	鳥山 志保
小野 俊哉	堂尾 航平	北村美希子	西川 友香	武 尚子	品川 哲哉	布澤 慶多	寺崎 千博
野中 玲子	中村 臣	今里 尚武	脇川 怜子	荒木 誠治	横山 徹志	森 亜有美	森 いづみ
伊藤 善弘	森川さより	白石 英子	高瀬 康洋	北川 正宏	大山 晋介	野中 貴志	

県立虹の原特別支援学校

平田 昭輔	高谷 康文	柳本ますみ	丸内 史	中村 大悟	堀江 勇治	陶山 美紀	岩崎 恵子
平山 拓也	宮崎 祐子	浦川 拓真	杉本 晃	津川 初美	江口真理子	松浦 浩美	出口 正治
副田 恵太	宮尾千寿子	轟木 正生	佐藤 智彦	石橋真知子	長岡 彬乃	小西 健一	三岳小百合
中山 法枝	佐藤 瑞季	佐藤 由美	前田美弥子	眞崎恵美子	武田 晴香	松村振一郎	谷山美和子
宮崎美緒子	田中 友子	中原 千穂	寺井 祥一	遠藤 博己	岡富 正樹	村上 傑	畑中 朋子
山口 真司	吉田 聖子	新里 香織	川元 輝国	中島佳奈子	北島 貴晴	松坂 清佳	永田かおる
才木 勝	猿渡 京	松尾 貴之	山本由美子	日高 直美	嶋田 恵	落合 美枝	平田 聖子
田本美津子	三浦由香子	松尾圭一郎	宮地ゆいこ	田淵 敏朗	伊東 功	堀口ゆきみ	佐々木幸美
出口 稔規	高橋 博	濱田 裕子	小松原由可	大野ちづ子	宮崎 愛	前田 博志	松本 公子
川尻 憲裕	山脇 光子	前田 恵	中野 直文	太田 牧歌	谷口 柚香	三陸伸一郎	澤谷 英子
一瀬 久未	土橋 里美	永田 順子	高橋 利幸	坂本 敬子	児島 幸子		

道渕 忠之
浦 雄大
岩村 征和
黒川 恵理
青見 淑

井上 奈央
大財 義教
川上 信輝
國本 るみ子
吉元 眞実
岩本 聡美
村田 伸一
合家 彰子
小佐々 美子
向井 美保
吉村 恭平
山中里恵子
澤井幸八香
由良美奈子
立井 元美
阿納 健一

假屋 健太
渡邊 尚子
矢野 隆二

西村	優子
立花	みか
森	茂二

原田	直人
阿南	直也
下田	淳康
日高	桜子

松下 優美
本田 公美
竹田美佐子
坂口 弘子
山本 智郎
吉田のり子

峯	信幸
山田	恵美
榊原	知恵
田浦	立樹



◆ 正会員一覧【会員数：73】

障害者スポーツ協力団体	長崎県スポーツ協会	長崎県障害者卓球協会
	長崎県社会福祉協議会	長崎県障害者バドミントン協会
	長崎県特別支援学校長会	長崎県障害者フライングディスク協会
	長崎県障がい者スポーツ指導者協議会	長崎県障害者アーチェリー協会
	長崎陸上競技協会	長崎県車椅子バスケットボール協会
	長崎県水泳連盟	長崎県車椅子ツインバスケットボール協会
	長崎県卓球連盟	県央障害者自立センター
	長崎県アーチェリー協会	諫早市多良見町障害者スポーツ倶楽部
	長崎県ユニカール協会	上五島つばき
		長崎ふうせんバレーボール振興委員会
県及び地域障害者団体	長崎県身体障害者福祉協会連合会	長崎ペンギンスイミングクラブ
	長崎県知的障がい者福祉協会	諫早ペンギンクラブ
	長崎県手をつなぐ育成会	長崎ロードランナース
	長崎県視覚障害者協会	スペシャルオリンピックス日本・長崎
	長崎県ろうあ協会	JDSチーム
	長崎県身体障害者児者施設協議会	長崎ろう女子バレー部
	長崎県精神障害者家族連合会	長崎県知的障がい者サッカー連盟
	長崎県精神障害者団体連合会	障がい者スポーツチーム GENKI
	長崎県腎臓病協議会	長崎男子デフバレー部
	長崎市身体障害者団体連合会	長崎県知的障害者バスケットボール協会
	佐世保市身体障害者団体連合会	長崎ソーシャルフットボールクラブ
	大村市身体障害者団体連合会	ふれあいネットワーク・ピア
	諫早市身体障害者福祉協会	若竹の会
	雲仙市身体障害者福祉協会	デフソフトバレーボールチーム
	五島市身体障害者福祉協会	全九州障害者ゴルフ倶楽部協会
	西海市身体障害者福祉協会	元気っ子クラブ 希
	島原市身体障害者福祉協会	がんばらんば長崎
	松浦市身体障害者福祉協会	長崎サンライズ
	壱岐市身体障害者福祉協会	長崎Ladybirds
	平戸市身体障害者福祉協会	九州障害者ゴルフ連盟 長崎支部
	対馬市身体障害者福祉協会連合会	SEA WEST バスケットボールクラブ
	南島原市身体障害者福祉協会	長崎県ボッチャ協会
	生月町身体障害者福祉協会	
	田平町身体障害者福祉協会	
	佐々町身体障害者福祉協会	
	時津町身体障害者福祉協会	
	長与町身体障害者福祉協会	
	波佐見町身体障害者福祉協会	
	東彼杵町身体障害者福祉協会	
	川棚町身体障害者福祉協会	
	新上五島町身体障害者福祉協会	
	長与町障害者団体連絡協議会	



入会方法にはついては、協会事務局にお問合せ下さい。

TEL：095 - 894 - 9686

●●● 協会会員募集 ●●●

一般社団法人長崎県障害者スポーツ協会は、スポーツ活動を通じて障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するため、様々な活動に取り組んでいます。

協会の運営と主たる事業の実施については、主に県、市、町の補助金と委託金によって賄われていますが、障がい者のスポーツ振興を図っていくためには、さらに協会独自の事業、対応も必要であり、こうした取り組みには会員皆様からの会費収入などの自主財源が必要であります。

本県障がい者スポーツ振興のために、より多くの団体、個人の方のご理解とご支援を頂きたくよろしくお願い申し上げます。

■ 賛助会員

- ・賛助団体
1口 5,000 円以上
- ・賛助個人
1口 1,000 円以上

■ 正会員

- ・障がい者団体
1口 5,000 円の2口以上
- ・スポーツ競技団体
1口 5,000 円以上
- ・その他の団体
1口 5,000 円以上



よろしくお願いします。

編集後記

9月5日、「2020 東京パラリンピック」は多くの感動の余韻を残しながら閉幕した。障害がありながらもその障害を自らの個性ととらえた迫力あるプレーの数々、躍動するパフォーマンスに、時には涙しながら拍手を送り続けた。

パラリンピックのマークは「スリーアギトス」と呼ばれる。アギトスはラテン語で「私は動く」を意味する。「2020 東京パラリンピック」のあの幾多の感動のシーンはこれからの共生社会実現に力強いメッセージを送る意義ある素晴らしい大会だった。(K)



このパンフレットは、赤い羽根共同募金の助成金により作成されたものです。